

コミュニティ・スクール通信

Vol.1 令和5年4月発行 常滑市教育委員会

コミュニティ・スクールへの期待

常滑市教育委員会教育長 土方 宗広

目の前にいる子供たちに『未来をたくましく生き抜く力』を身に付けてもらうために、小中学校の先生は日々、授業をはじめとする様々な教育活動に取り組んでいます。しかし残念ながら、小中学校の先生がどれだけがんばっても、先生方の力だけでは、その実現は程遠いでしょう。

では、どうしたらよいのでしょうか。学校が地域と手を携えて活動することです。学校の先生が保護者や地域に住んでいる方々と「子供たちに身に付けさせたい力は何か」を考え、協働していくことです。地域と学校の双方が子供を育てる当事者となり、共通の目標をもち、その目標に向かってお互いが補完しあいながら活動することです。

これがコミュニティ・スクールの本質であり「地域とともにある学校」の姿です。市内13校がコミュニティ・スクールとして、子供たちの未来を支える学校になることを心から願っています。

コミュニティ・スクールとは…

地域と学校が協働し、学校運営にあたるために「学校運営協議会」を設置した学校のことを「コミュニティ・スクール」といいます。

常滑市では、他校に先駆けて三和小学校と南陵中学校で学校運営協議会を立ち上げ、常滑市の小中学校における学校運営協議会のあり方を模索してきました。

そして、令和4年度からは、市内のすべての小中学校において学校運営協議会を設置し、「コミュニティ・スクール」としての新たな学校づくりを進めることになりました。

コロナ禍によって地域とのつながりが希薄になっていた小中学校ですが、あらためて保護者や地域との連携を推進することで、学校のニーズに応じていただく学校づくりのための支援活動だけでなく、学校が地域づくりのために地域のニーズに応じていく地域貢献も視野に入れて相互連携を進めていきたいと考えております。

西浦北小学校 学校運営協議会

「コミュニティ・スクールを核としたネットワーク作り」

現在の校舎は、平成9年に樽水地区から移転されており、運動場には、地域からの熱意で旧校舎にもあった土俵が再設置され、現在も毎年秋に地域の方の協力を得て、すもう大会を行っています。

本校の学校教育目標は、「社会の変化に主体的に対応できる、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成」です。学校は、地域と力を合わせ、子どもたちに充実した学びをさせたいと考えています。

○令和4年度の活動

- ・1・2年生歩行訓練補助
- ・2年生町探検付添い
- ・すもう大会補助
- ・西阿野地区巫女舞参加
- ・6年生自転車訓練立哨 等

○令和4年度「すもう大会」10月2日(日)

3年ぶりにすもう大会を開催することができました。行司のお二人は、30年以上前からボランティアで行司を務めてくださっており、大会当日も軍配を上げたり、決まり手の解説をしてくださったりしたため、スムーズな運営ができました。前日準備は、土俵の飾り付けや土俵作りに地域の方とPTAと一緒に取り組みました。大会は、大勢の観客に声援を受けた児童らが、生き生きと参加しました。



＜本年度のすもう大会＞

○地域の皆様へ

本年度は、学校から依頼をすることが多く一方通行気味でしたが、今後は地域の方とつながり始めたネットワークをさらに深め、双方向から提案のできるコミュニティ・スクールにしたいと考えています。児童には、これからも積極的に地域行事に関わらせたいと思っています。令和5年度も「すもう大会」を中心に、学校と地域が一体となり、各種の活動を成功させましょう。

また、児童の学びを、校内だけにとどまらず、広く地域の方とともに行いたいと考えています。地域の皆様、地域の子どものため、ぜひ一緒に活動しましょう！

西浦南小学校 学校運営協議会

「地域の人から愛され、地域を愛し、夢をもった児童の育成」

本校は全ての学年が単学級の小規模校であり、地域も学校の活動に関して協力的です。学校運営協議会は、区長代表、主任児童委員、警察官、民生児童委員代表、地元有識者、OB、地元企業代表、PTA会長、校長の計9名で構成されています。また、学校支援を目的とする「西浦南応援団」を発足し、将来の地域の担い手である子どもたちの育成のため、学習支援や安全支援、環境整備など教育活動のサポートをいただいています。主な支援内容は以下の通りです。

学習支援活動…学期末における授業後の児童支援、読み聞かせ活動、授業・クラブ活動補助、校外学習補助

安全支援活動…あいさつ運動

環境支援活動…グラウンド整備、草刈り、緑化作業など

「ようこそ、先輩！」

3年生の総合的な学習の時間に、本校の卒業生であり、校区のフランス料理店のシェフとして活躍している渡邊大佑さんを講師にお招きし、子どもたちに出前授業をしていただきました。小学生時代の思い出、料理人を志したきっかけ、料理に対する思い等をお話ししていただくとともに、料理の実演も見せていただきました。目の前で鱈をさばく渡邊シェフの姿に子どもたちの目は釘付け。子どもたちは「すごかったよ」「ぼくたちのために料理を見せてくれてうれしかった」「いつかお店にも行ってみたい」と、憧れや感謝の気持ちを抱く様子が見られました。【さすがシェフ！上手だね】



本校のコミュニティ・スクールとしての取組は、第一歩を踏み出したばかりです。今後も地域の宝である子どもたちを、地域の皆様と手を携えて育てていきたいと考えます。西浦南応援団のモットーは「できる人が、できるときに、できることを」です。より多くの方のご登録をお待ちしています。

小鈴谷小学校 学校運営協議会

「小さな学校の大きな人づくり」

～鈴溪義塾の理念と郷土に誇りをもち、
思いやりの心あふれる学校づくり～

《令和4年度の活動紹介》

- ・スクールガードの登下校見守り活動
- ・花いっぱいボランティアの緑化活動
- ・学習ボランティアの授業サポート

《わくわく読み聞かせ》

毎月、図書館ボランティアさんが、全ての学級で読み聞かせをしてくれます。季節の行事にちなんだお話や大型絵本など、毎回、すずっ子たちを楽しませてくれます。

《学校&家庭&地域の強カタッグ!》

小鈴谷小学校は、豊かな自然に囲まれた学校です。一方で、運動場や学校周りの手強い雑草との戦いもあります。でも、大丈夫、小鈴谷小には心強い応援団の皆さんがいます。運動会前には、すずっ子たちや職員、PTAボランティアや応援団の皆さんが、協力して運動場の草を退治しました。11月の土曜日には、応援団の皆さんと共に、職員も総出で学校周りの草刈りや剪定に汗を流しました。来年度も、家庭や地域の皆さんとともに、小さな学校の大きな人づくりを目指します!



【今月は、どんな本かな?】



【運動会に向けて雑草退治】



【小鈴谷小応援団&小鈴谷小スタッフ 大集合!!】

南陵中学校 学校運営協議会

「ふるさと南陵を愛し 夢と志をもった生徒の育成」

本校では、上のような合言葉を掲げ、地域の方々と一緒に南陵地区の担い手を育む活動を進めています。地域の方や保護者による①～④のようなご支援をいただくとともに、⑤のように子どもたちが地域に出て活躍することや、⑥のような小中のつながりを大切に、地域とともにある学校を目指しています。

① 環境支援

除草作業、剪定、資源回収

② 学習支援

働く方と語る会、南陵学習(南陵クラブ)

③ 安心安全支援

自転車点検、あいさつ運動、登下校の見守り

④ 文化交流支援

部活動指導、雅楽・琴の授業

⑤ 地域貢献

・地域参加
大谷海岸清掃

⑥ 小中連携

入学説明会、部活動参観

「お祝いの気持ちをこめて コサージュづくりの会」

～南陵中サポーターズによる支援～

3年生の保護者の方が、卒業式のコサージュづくりの企画・運営をしてくださいました。コサージュのデザインに始まり、材料の調達、協力者の募集、会の運営に至るまでご支援くださいました。おかげで、素敵なコサージュが完成するとともに、ご協力くださったみなさまの新たなご縁がつながり、子どもたちの成長を振り返る楽しい会話に花を咲かせることができました。愛情いっぱいのコサージュを胸に、3年生がどのような表情で巣立ちの時を迎えるのか今から楽しみです。



卒業式のコサージュづくり

本校は地域の拠点として、子どもたちの豊かな成長を願うことはもちろん、子どもたちのためにと集うすべての方々が、それぞれの持ち味や得意・よさを生かし、いきいきと活躍できる場所となることを目指しています。まずは、ぜひ学校に足を運んでいただき、子どもたちの様子をご覧いただくと嬉しいです。

鬼崎北小学校 学校運営協議会

「親切、丁寧でひとりひとりを大切にする教育を通して」

これまで、地域から学校へ…の一方向から支援をいただくことが中心だった活動を、「地域、保護者の方々と学校が連携し、一緒に動く」という部分を充実させ、「子どもの成長を一緒に感じ合えるコミュニティ・スクール」を目指しました。

行事・学習支援

海岸清掃 学年園整備
クリスマスリース作り のりすき体験
田植え・稲刈り、もちつき体験
ミシン学習 クラブ活動

環境整備

樹木剪定

生活安全支援

見守り あいさつ運動



海岸清掃



1年クリスマスリース作り



6年ミシン学習

今後も、地域・保護者のお力を学校活動に取り入れていけたらと考えております。

「きほく応援隊」ボランティアへの応募 また、「地域で子どもたちに活躍してほしい場面・姿」をどんどんお寄せいただき、鬼崎北小学校の子どもたちの成長を一緒に感じ合いましょう。

鬼崎南小学校 学校運営協議会

「地域に誇りをもち、地域に貢献しようとする児童の育成」

学校運営協議会が発足した本年度は、「できるだけ多くの方に鬼崎南小学校の様子を知っていただくこと」を大切にして取り組みました。本校の教育活動に、延べ77名の方に協力していただきました。

【本年度の主な取組】

・授業サポート、校外学習の引率サポート、校内の環境整備



▲ 授業サポート（ミシン）

活動紹介

家庭科（5年生）のミシンを使う授業、図工（6年生）の糸のこを使う授業で、地域や保護者の方にサポートをしていただきました。児童から、「先生以外にも3人の方がいたから、分からないときにすぐ質問できて、よかった」という声が聞かれました。地域の方に学校の様子を知っていただくよい機会にもなりました。



▲ 校内の環境整備

▼ 校外学習の引率サポート



… こんなことがありました …

ある授業での一場面。児童が、授業サポートに来ていただいた方に話しかけ、楽しそうに会話をしていました。以前、地域の草刈りにその児童が参加した際、その方がいたことを覚えていたことがきっかけでした。このような目に見えない「繋がり」を大切にしていきたいです。

令和5年度は、今年度の活動を継続しつつ、より多くの方に学校、児童の様子を知っていただきたいと考えています。活動のサポートの依頼については、今年度と同様に学校運営協議会委員の方から随時連絡させていただきます。ご協力、よろしくお願いいたします。

鬼崎中学校 学校運営協議会

「地域と学校とのつながりの復活を目指して」

①学校が「地域の公共財」となり得るために

コロナ禍により、地域と生徒をつないできた祭事や催し等が中止や変更追い込まれ、それまで培ってきた地域と学校とのつながりも途絶えてしまう危機感がありました。そこで、コミュニティ・スクールの発足をきっかけに、地域の活動に生徒が参加できる機会を計画し、積極的に発信していくことで自主的な参加や協力を促し、地域と学校が共生していける持続可能な仕組みの実現に取り組みました。

②令和4年度の取組の概要について

- ・地域の催しや依頼に関する周知と斡旋、参加生徒への支援
- ・学校HPや学校便りを通した活動内容の報告（情宣活動）

③令和4年度の生徒が参加した活動

- ・11/13(日)、鬼崎漁港周辺の「クリーン大作戦」に参加し、活動に加え、参加者受付などの運営面でも活躍しました。
- ・11/20(日)、「多屋区防災訓練」に参加し、今後の災害時に活躍できる知識と技術を身に付ける機会となりました。



11/13(日)「クリーン大作戦」



11/20(日)「多屋区防災訓練」

④令和5年度に向けて

他にも「榎戸盆踊り大会」の運営ボランティアとして生徒が活動する予定でしたが、新型コロナの感染拡大の影響で中止となり、実現できませんでした。それでも地域に貢献したいと考えている生徒が本校にはたくさんいます。今後も地域の活動への参加を促進していきますので、よろしくお願いいたします。

青海中学校 学校運営協議会

「ふるさと“青海”を愛し、夢に向かって努力する生徒の育成」

青海中学校学校運営協議会は、青海中応援団員さん、民生委員児童委員さん、区長さん、PTA役員さんなどさまざま立場から青海中学校を支えてくださっていただいている心強いサポーターのみなさまで構成されています。

☆令和4年度の活動

- ・青海中応援団・学校支援活動への協力
- ・あいさつ運動
- ・ミシン補助ボランティア

1年生の家庭科の授業でミシンを学習しました。生徒のミシン操作の補助をしていただけるボランティアを募集したところ、保護者、学校運営協議会委員、青海中学校応援団の関係者6名の方が参加してくださいました。

- ・尾張大野古今散策ボランティア

大野コミュニティの方から、中学生ボランティアの依頼をいただき、青海中生が地域のイベント「大野古今散策」へのお手伝いに参加しました。受付、スタンプラリーやバザー、ビンゴゲームなどの運営補助、会場の準備や片付けなど地域のために活動できました。

☆今後も授業支援ボランティアを募集したり、地域の活動に参加したりしていきます。

生徒のためにみなさまのお力をぜひお貸しください！



【ミシン操作補助】



【甲冑を着ての練り歩き】

三和小学校 三和っ子育成協議会（学校運営協議会）



「地域とともにある三和小学校をめざして」

① 「三和っ子育成協議会」（学校運営協議会）の目的

本校は、学校運営協議会を「三和っ子育成協議会」と称し、地域リソース（ひと・もの・こと）と関わり、活用し、子どもたちの生きる力（「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」）を高めること、地域文化や伝統の継承に努め、子どもたちの「ふるさと三和」を大切にする心と行動力を育むこと、家庭・地域と連携・協働し、危機に強い安全・安心で、たくましい学校・地域を築くことを目的としています。

② 令和4年度の活動

- ・ボランティア年間計画に準じて、コロナ禍でも実施できる学校活動の支援・協力、環境整備作業
- ・学校教育目標の承認、年間4回の役員・実行委員会での意見交換・提言

③ 「三和っ子フェスティバル」【10/1(土)】

児童はペア学年で、各コーナーを回って楽しみます。地域や関係団体の方と三和っ子とのふれあいの中で、三和っ子の笑顔がたくさん見られ、大盛り上がるの行事となりました。



【おやじの会:ジップライン】



【PTA:スリッパ飛ばし】

【参加団体】

地区コミュニティ（矢田・久米・前山）

おやじの会、スポーツ愛好会、ボーイスカウト、ガールスカウト、PTA

④ 令和5年度に向けて

- ・今後の課題として、これからも継続するために、次の世代にどう引き継いでいくか。
- ・コロナ禍において活動の制限をしていたが、令和5年度は対策を講じながら、学習支援・地域関連活動においてできる活動を復活させていきます。地域・保護者の皆様のご理解・ご協力をお願いします。

大野小学校 学校運営協議会

学校、地域、保護者が知恵を出し合い、子どもたちの健やかな成長を支えよう

① 学校運営協議会の目的・活動目標について

保護者、地域住民等の学校運営への参画、支援及び協力を促進することにより、相互の信頼関係を深め、地域に根ざした児童の健全育成に取り組んでいきます。

② 令和4年度の活動について

- ・地域の方の協力で実現した出前授業（ポッチャ体験、びやくしんの木）
- ・保護者や地域の方と協力して取り組んだ学校の環境整備
（除草作業、ポストのペンキ塗り、児童用机椅子の調整、花の苗の植え替え）
- ・保護者による学習活動の支援（PTAおうえん隊）

③ 活動紹介（ポッチャの体験）

4年生の総合的な学習の時間において「ポッチャ」の体験を行いました。地域の方からの紹介で、ポッチャの選手を実際にお呼びして、お話を聞いたり、ゲームを体験したりすることができました。当日は、地域の方にも来ていただき審判などを手伝っていただきました。



【ポッチャ体験の様子】

④ 令和5年度に向けて

地域の資源を引き続き確認したり、発掘したりしていきます。地域の文化や自然、人や活動団体などの情報をお待ちしています。そして、地域の中で子どもたちの生きる力を一緒に育てていきましょう。

常滑西小学校 学校運営協議会

「常西っ子（＝地域の子ども）を育てる応援隊」

本校は市の中心部にあり、焼き物だけでなく様々な商工関係の方が多く在住しており、保護者（PTA）や学区関係者の方には本校卒業生という方も多いです。また、以前から子どもの見守りや読み聞かせなどで、多くの関係団体の方にご協力をいただき、通学や教育活動の支援をしていただいていた。

しかし、ここ3年は、様々な活動を地域関係者と積極的に連携して行うことが難しかったこともあり、改めて「地域の子どもを育てる」ための連携の仕方を考えていかなければならない状況となっていました。

<令和4年度の活動>

学校運営協議会での協議において、まずは「地域の子どもを育てる」という視点で、学校がすべきこと、PTAができること、地域の方をお願いしたいことを整理することが大切であるということになり模索する一年となりました。その一方で、関係団体による支援は続いており、その一つの読み聞かせボランティアの「がらがらどんのもり」については、朝の読書タイムに毎月全学年に対して読み聞かせ活動を継続的に行っていたりなど、精力的に活動を行っていただきました。また、そのメンバーである学校運営協議会委員から「本の修繕もできるのでは」という声をいただき、その準備も進めています。

<令和5年度に向けて>

令和5年度は、本年度の学校運営協議会で方向性の出た「常西っ子応援隊」を積極的に展開していく予定です。「できるひとが できるときに できることを」を合い言葉に、学校・家庭・地域が協働して、「常西っ子」を育てていく体制を構築していきたい。そして、地域の方も含めて、「こんな子になってほしい」という思いを共有して、進んでいけたらと考えています。



【がらがらどんのもり】



【学校運営協議会】

常滑東小学校 学校運営協議会

「…… 地域とともにある学校づくりを目指して ……」

地域とともにある学校づくりの理念や目指す学校像を地域と学校が共有し、地域と連携・協働した教育活動を通して、児童の自己実現を図る。

①東っ子応援隊発足

本校では、これまでも登下校の見守り、草刈り・剪定などの校内環境整備、ミシンボランティアなどの学習支援をはじめ、読み聞かせボランティア、運動会の準備・運営支援など、多くの場面で保護者・PTA、地域ボランティアやボランティアグループの皆様に、学校運営に参画・支援をいただけてきました。それら個別での参画・支援を、学校運営協議会が主体となって、組織的・共同的に広め、深めていくために、「東っ子応援隊」を組織しました。

②令和4年度の活動

- ・スクールガードによる登下校見守り活動（毎日）
- ・読み聞かせボランティア（毎週金曜日）
- ・調理実習支援（2年生生活科、5・6年生家庭科）
- ・ミシン授業支援（5年生家庭科）
- ・除草作業（8月）
- ・火起こしボランティア（3年生社会科・5年生野外教育活動練習）

③地域で守る東っ子の安全（スクールガード活動）

平成18年に防犯ボランティアとして発足し、16年が経過しました。平成28年に現在のスクールガードに再編し、どんなに悪天候でも、毎日、東っ子の安全のために活動してくださっています。23名のメンバーが使命感と誇りをもって、1,000名を超える児童の命を守る活動に取り組んでいます。



【積雪時の活動】

④令和5年度に向けて

今年度はコミュニティ・スクールについて、地域への浸透と教職員への周知が不十分でした。そこで次年度は、学校側のニーズの把握と地域への発信、地域人材の発掘に努めます。例えば、元ボーイスカウト・ガールスカウトの方々からも、「ぜひ東っ子のために力を使いたい」とお声かけいただきました。校区の持ち味と地域力を生かした教育活動を推進していきます。

常滑市立常滑中学校 学校運営協議会

「明日も学びに行きたくなる学校を目指して～学校・家庭・地域で生徒を育む～」

常滑中学校コミュニティ・スクールは、学校・家庭・地域の協働により「ふるさと常滑を愛し、世界にはばたく生徒の育成」を目標に掲げてスタートしました。令和4年度は、創立76年目（コミュニティスクール元年）であり、創立100周年に向けて常滑中らしい取組ができないか検討を重ねてきました。

学校は山を切り開いた小高い丘に位置しており、地域住民の往来が少ないため、玄関口となる広場を賑やかにして、まずは誰でも気軽に立ち寄っていただき、地域連携を推進しようと2つのことを考えました。

1つ目は、常滑中学校の新しいシンボル「**煙突モニュメント**」の設置です。常滑らしさの象徴・景色にもあげられる煙突をモチーフにしました。レンガは、大正から令和まで続いた常滑市奥条の東窯工業株式会社（旧杉江製陶所）様から歴史ある貴重なものをいただきました。

2つ目は、卒業制作「**思い出レンガ**」の設置です。3年生一人一人がレンガに文字や絵を描き窯で焼きました。コロナ禍の3年間を力強く過ごした76回生からスタート。100周年となる25年後には5,000個程の素敵なレンガが広場には敷き詰められ、夢が詰まった空間になります。

「ふるさと常滑」を大切に想う場所、思い出の地として、人生の節目で訪れてほしいと願いを込めました。お近くへお越しの際は、生徒たちの未来へのメッセージをご覧ください。



完成式〔2023.3.2〕で記念撮影をしました



美術の時間にデザイン



思い出レンガ



煙突モニュメント

学校とつながってみませんか

常滑市の各小中学校では、コミュニティ・スクールとして地域との連携をさらに推進していくために、次のようなことを考えています。

○地域の皆さんに学校の取り組みに参加していただき、地域の子どものための教育に関わっていただきたい。

○地域の活動に、地域の一員として子どもたちを参加させることによって、地域と学校との一体感を生み出したい。

これらの取り組みは、学校が地域からの支援を一方向的に求めているものではなく、地域とともにある学校づくりを目指したものです。お力をお貸しいただける方、アイデアをお持ちの方は、各学校の教頭先生にお声かけください。連絡をお待ちしております。

【青海地区】	青海中学校	42-0331	三和小学校	42-0749
	大野小学校	42-1011		
【鬼崎地区】	鬼崎中学校	42-0221	鬼崎北小学校	42-0222
	鬼崎南小学校	35-2422		
【常滑地区】	常滑中学校	35-2375	常滑西小学校	35-2104
	常滑東小学校	35-2428		
【南陵地区】	南陵中学校	35-4005	西浦北小学校	35-2164
	西浦南小学校	35-4002	小鈴谷小学校	37-0021